

## 小曾根小学校、ここに始まる

### 1 西福寺(小曾根1丁目)

明治7年(1874)~9年に小曾根小学校の校舎としても利用されたこの寺には、江戸時代の有名な画家・伊藤若冲が描いた仙人掌群鶏図のふすま絵が残されています。国の重要文化財に指定され普段は見る事ができませんが、毎年11月3日に虫干ししている様子を見学することができます。



歴史あるまちを  
散歩しよう

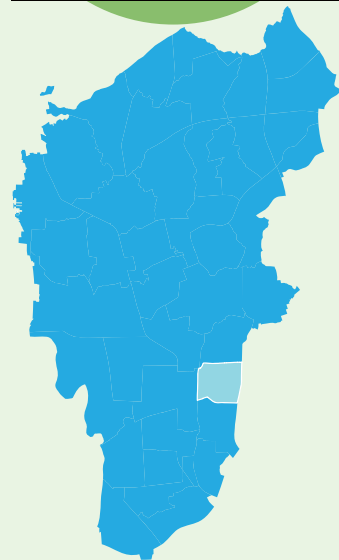
マチカネくんと歩く

# まちある記

第16回

鎌倉時代から続くまち  
小曾根から浜へ

小曾根小学校区



2



高川

### ◎松と大クモの伝説

昔むかしに犬ほどの大きなクモが天竺川まで届く巣を張り、鳥や村人を食べていたという伝説が残っています。このクモが糸を掛けた松を「大くもの松」と呼んでいたのですが、昭和9年(1934)の室戸台風で倒れてしまったそうです。



大クモはいるかな?

## 今も残る道しるべ

### 2 道標(小曾根2丁目)

「左 いけだ みのを 中山」と記された道しるべ。服部天神宮(服部元町)から吹田市南部を通る吹田街道は年貢米や農産物の運搬などに利用されていました。他にも街道沿いには当時の面影を残す建物が残っています。



春日大社の荘園を管理する荘官・今西氏の屋敷をはじめ、江戸時代の藩の陣屋跡や伊藤若冲の絵が残るお寺などが歴史を感じさせてくれます。古いまち並み歩きながら思いをはせてみませんか。

## 川の平穏を願って

### 5 経塚(浜1丁目)

天竺川の堤防近くにある経塚。天竺川の洪水から人びとを守ることを祈願して、天保13年(1842)に浜在住の学者が石に書いた經典を埋めたと伝わっています。天竺川と高川は昔から氾濫が多く、そのたびに堤防を高くしていったため、周囲の土地より川底の方が高い天井川になっています。



## 神の使いが眠る場所

### 4 鹿塚(浜1丁目)

広びろとした水田に、まるで浮かんでいるかのように大木が茂る塚。これは、今西氏屋敷にある南郷春日神社(浜)の末社の跡で、現在も小さな祠が祭られています。塚は奈良春日大社の使いである

鹿の墓とも神の使いである白狐の墓ともいわれています。



他にも東のミイさん(写真右)に西のチンジンさんと呼ばれる末社の跡があります

## ◎地元の畑で収穫体験

水田や畑が多く残るこの地域では、学校の給食に地場野菜が使われています。小曾根小学校では地元の農家と協力してタマネギの植付けや収穫を体験する授業を実施。普段食べているタマネギがどのように育つか分かったかな?



小曾根

府道豊中吹田線



小曾根小学校

1



小曾根



小曾根公園

天竺川

5

4

3

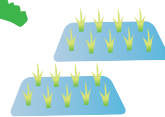


今西氏屋敷

浜



第十二中学校



飯野藩浜屋敷跡

小曾根出張所

国道479号

名神高速道路

## ◎4つで1つの公園

道路の両側にある4つの公園。これらの公園は南郷児童遊園と呼ばれ、地域の皆さんの憩いの場になっています。送電線の真下の土地を利用して、市が公園として管理しています。



## 今西氏屋敷の 広大さを伝える

### 3 市立小曾根校区南郷の家(浜1丁目)

市内に10ある老人憩いの家の一つとして平成17年に建てられました。建設時に行われた発掘調査で、今西家に伝わる古文書にも記される屋敷東側の外堀が確認されました。



出土したくい

南郷の家の玄関には堀周辺から見つかった出土品が展示されています

9月号は、熊野田小学校区をご紹介します。お楽しみに。